



代表取締役社長

白居 賢

株主の皆様へ

初夏の候、株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2018年度の世界経済は後半に減速感が強まり、当社の主要顧客の属する電子部品業界では、自動車関連は堅調に推移しましたが、スマートフォン向けや設備関連が第4四半期に大きくスローダウンしました。

このような事業環境のもと、当社は拠点整備とネットワーク拡充を進めると共に、国内・海外一体となった提案営業を推進しましたが、需要減少の影響を補いきれず、前期比で若干の減収減益となりました。

さて、本年度より3カ年の第4次中期経営計画をスタートしました。基本方針を「進化する『最適物流』をより多くのお客様に」と定め、年々高度化する顧客の要求を満足すべく物流技術、ソリューションを進化させてまいります。引き続き、国内外で活動領域を広げると共に、車載や産機など新しい市場への本格参入を図り、成長を加速させてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

2019年3月期

IRレポート

～2018年4月1日から2019年3月31日まで～

株式の概況 (2019年3月31日現在)

■株式の状況



■大株主の状況

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
アルプスアルパイン(株)	16,526	46.8
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND	2,844	8.1
TDK(株)	2,804	7.9
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG	968	2.7
アルパイン(株)	792	2.2

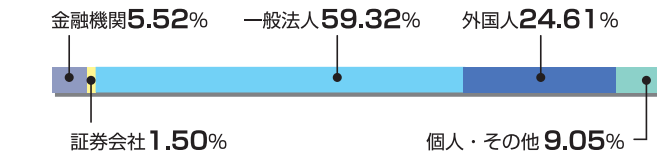
※持株比率は、自己株式を控除して計算しています。

会社情報 (2019年3月31日 現在)

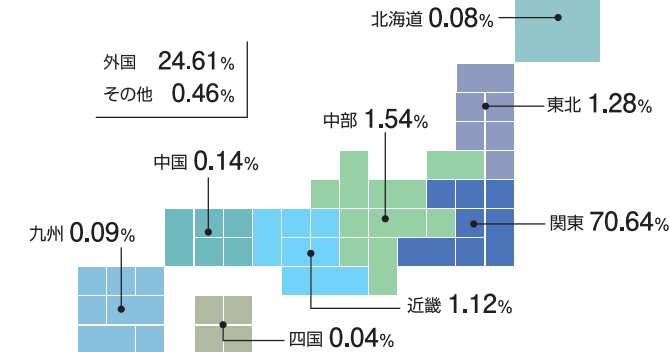
社名 株式会社アルプス物流 (証券コード 9055)
 英文社名 ALPS LOGISTICS CO., LTD.
 本社所在地 〒223-0057 神奈川県横浜市港北区新羽町1756
 電話番号 045-531-4133 (代表)
 設立 1964年7月2日
 資本金 23億4,904万円
 社員数 (連結) 5,887名 (単独) 914名
 運行車輛数 (連結) 3,411台 (単独) 653台
 倉庫面積 (連結) 832,570m² (単独) 277,053m²

物流個性 ●ホームページURL <http://www.alps-logistics.jp/>
 ●IR情報URL <http://www.alps-logistics.jp/jpn/ir/index.html>
お客様のための、最適物流を。

■所有者別株式分布状況



■地域別株式分布状況



株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日
 期末配当金受領株主確定日 3月31日
 中間配当金受領株主確定日 9月30日
 定時株主総会 毎年6月
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 特別口座の口座管理機関 (連絡先) 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
 上場証券取引所 東京証券取引所市場第2部
 公告方法 電子公告

【ご注意】・住所変更等のお手続きは、口座管理機関(証券会社等)にお問い合わせ下さい。
 ・特別口座に記録された株式に関するお手続き、未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行にお問い合わせ下さい。

当期の連結業績実績及び次期の連結業績予想

(単位：百万円、率：前期比増減)

2019年3月期 (実績)		2020年3月期 (予想)	
売上高	104,919 (△0.1%) ↓	売上高	106,000 (1.0%) ↑
営業利益	4,722 (△4.3%) ↓	営業利益	4,700 (△0.5%) ↓
経常利益	4,830 (2.7%) ↑	経常利益	4,600 (△4.8%) ↓
親会社株主に帰属する当期純利益	2,499 (2.5%) ↑	親会社株主に帰属する当期純利益	2,650 (6.0%) ↑

連結業績の概況 (2018年4月1日～2019年3月31日)



3カ年の中期経営計画最終年度の当期は、①新領域に挑戦しビジネス・物量を拡大、②「現場革・進」による生産性向上と利益確保、③競争優位性拡大の3つを重点戦略として取り組みました。

グローバルに拠点・倉庫・ネットワークの拡充を進め、拡販を強化した結果、電子部品物流事業では増収となりましたが、顧客の需要減に伴い商品販売事業は減収となり、消費物流事業でも一部取引の見直しを行った結果、減収となりました。

当期の連結売上高は、ほぼ横ばいの1,049億円に、連結営業利益は、4.3%減の47億円となりました。

▼電子部品物流事業

国内・海外での拡販により、アルプスアルパイングループ以外に、一般顧客向けを中心に売上高を伸ばしました。新規拠点・ビジネスの早期安定稼働や、作業の自動化を推進しましたが、大型のインフラ投資や航空運賃の高止まりなどが影響し減益となりました。

▼商品販売事業

北米向けは車載関連を中心に堅調に推移しましたが、欧州や中国向けの需要減によって、全体では減収減益となりました。

▼消費物流事業

通販関連の拡販が進みましたが、一部取引の見直しもあり、若干の減収となりました。利益面では労務費の増加等で減益となりました。

トピックス



第4次中期経営計画がスタート

当社はこの4月より3カ年の中期経営計画をスタートしました。お客様の物流ニーズの高度化に対応すべく「最適物流」を進化させてまいります。そして、より多くのお客様にサービスを提供すべく、地域と市場・顧客の2つの方向で拡大を図ります。以下の方針に基づき、計画の達成に取り組んでまいります。

基本方針

進化する「最適物流」をより多くのお客様に

- ・連結売上高1,200億円達成
- ・企業クオリティの向上

事業方針

- GTB** Get the Business 市場と商品の拡大
- GTP** Get the Profit 間・直の生産性向上
- GTC** Get the Confidence 選ばれる会社



マレーシアとハンガリーで新事務所を開設

当社はこの春、マレーシア及びハンガリーで新たに事務所を開設しました。マレーシアでは、南部ニライを主要拠点として事業を展開してまいりましたが、北部のペナン地区にて航空貨物の取り扱い、国内輸送、クロスボーダー輸送それぞれの更なる需要拡大が見込まれることから、営業拠点を開設することといたしました。



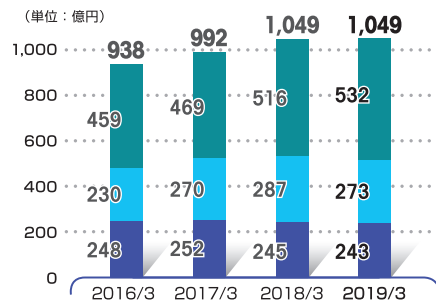
ペナン事務所

また、欧州ではドイツにて保管事業及び輸出入事業を行っておりますが、中東欧諸国での更なるマーケティング活動によるビジネス拡大、サービス自営化の検討を目的に、ブダペストに事務所を開設しました。

今後もグローバルネットワーク強化を進め、より一層のサービス向上を図ってまいります。

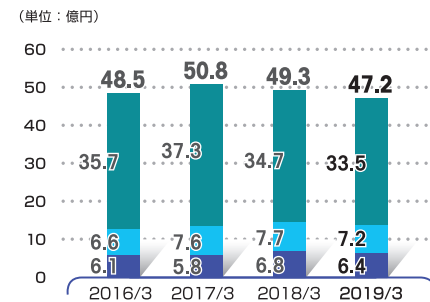
売上高

- 電子部品物流事業
- 商品販売事業
- 消費物流事業

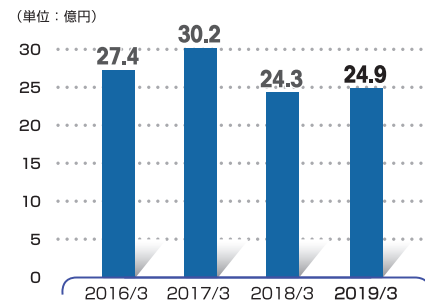


営業利益

- 電子部品物流事業
- 商品販売事業
- 消費物流事業

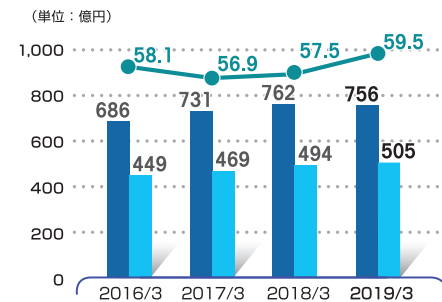


親会社株主に帰属する当期純利益



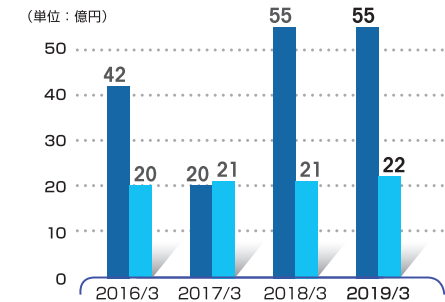
財政状況

- 総資産
- 純資産
- 自己資本比率(%)



設備投資・減価償却費

- 設備投資
- 減価償却費



ROE・ROA

- ROE
- ROA

